

Year: 1991

Location: Japan

Program:

Iハウス



新興住宅街にある敷地において、将来周囲に住宅が建て込んでも居間からの視界がある程度保たれるよう、正方形の平面を敷地に対し45度振って配置している。構法的には、ひとつのものにふたつの意味をもたせ、材料と施工の手間を省くよう工夫している。2枚の自立する外壁に載せた折板は屋根材と引張材の機能をもち、2枚の壁を地面から引っ張ることにより、壁の方向と直行方向の横力を確保している。2枚の壁自体の面剛性を取る構造用合板は室内側ではOSBを使っている。それをそのまま仕上げ材とすることで、ここでもひとつのものにふたつの機能をもたせている。